



古言清濁考

一

280
1



さねもみやひるまに秋のこも
ふ乃日親のまやくふらまも
あまの川ほき河原も
あまの川ほき河原も
あまの川ほき河原も
あまの川ほき河原も
あまの川ほき河原も
あまの川ほき河原も
あまの川ほき河原も
あまの川ほき河原も

ての野へのまきあかりむさふら
もさきまはかきこひまひ
あまの川ほき河原も
あまの川ほき河原も
あまの川ほき河原も
あまの川ほき河原も
あまの川ほき河原も
あまの川ほき河原も
あまの川ほき河原も
あまの川ほき河原も
あまの川ほき河原も

ほりあかありきほ宮長を
ききしうききおつら
らほく接つておの
んをうきて世を
しん又今のこころ
も海はうきえを
まゆくはりしおの

よきまをてしんを
しんをてしんを
しんをてしんを
しんをてしんを
しんをてしんを
しんをてしんを
しんをてしんを
しんをてしんを
しんをてしんを
しんをてしんを

○古書と名えぬは之の清保。今の代と謂^{イフ}と異^{コト}るいとお
不し。こゝ古書のかゝる用ひさまの。きりりるは二ハあり
む。いふくと今と清保のかけれるあり。かれ今ハいふ
へのよりて。今のよこるよりをきりてきりてす。

○凡て此書か定むる清保ハ。古事記。日本紀の奇。又訓注さ
てハる紫系の内。能^ナ字^ナ書^{カキ}あるまぢあり。かくて此三^ツの書
のうち。古事記ハをさしあやまりあるまを。日本紀も紫
二ハ。きりてふくも。きりてあやまりあるまを。そのか
ことごと考へあはせて。正^タとさしあやまり。又よりどこ
ろのおもさう。よくとおがさう。二よりて定^{サダ}免^ツつ。又

まゆり二ハ。言^{コト}のさまよりて。よりどこきりてすくあるか
ふくもふれるあり。又よりどこりハある事をも。かへは
例よりて。かくやあはれと。おのづかもていするもあり。
從^ツそ此^コ処^トをえてきりて。

○通を世とまりて。古書おまりてハ。古書かゝるの清保の。
とかれらる事をも。大く人ともきりてども。その清保も
ハ。清書の字を通^{カヨ}ハ用ひらる。おろとんじて。今の世
とるるをも。きりてきりてきりて。こハいふと
今と。清保かきりれる事をも。いふと。今と。今^{コト}の
きりてきりてきりて。

○山の川をヤ。ガ。ハ。旅する人をタビ。ビ。ト。とりのふらぐい。
すべてニッまつぬて。ツヨいコト。下の云のかりを。必
ずるうや。例を定めてよむハひが事なり。此例古書を考
ふる。今の世ハゆるるも。古云ハ清めるそまぐれだ。
必ひるふは。ハ。定えらる。古云よりてよむべし。凡て
今れ古学の軍。必。清。ぶ。ま。も。ゆるるも。と。と。と。み
ぶ。り。又。ゆるるも。あ。ら。る。ハ。申。と。又。古。へ。又。あ。ら。る。

○出中風土記。続日本紀の宣命。仏足石哥。古紙拾遺。姓氏録。
新選字鏡。延喜式祝詞。神名帳。和名抄。これか。ハ。清。留。日
か。ら。ぞ。れ。を。より。処。と。志。ざ。ら。る。これ。書。よ。ハ。清。留。の。処。

ハ。清。留。の。か。を。用。ひ。ら。る。ハ。さ。ら。る。も。い。ま。だ。清。留。の。処。
清。留。の。も。と。を。さ。へ。又。用。ひ。ぬ。り。それ。ど。古。く。記。日本。紀。の。某
の。か。ら。や。合。て。清。留。を。こ。ら。う。て。か。り。り。と。見。ゆ。る。処。も。を。り
を。り。い。る。さ。ら。る。も。あ。ら。る。

○古云と今れ言と。清留のかりぬを奉る。そのかは
れるが。あ。ら。る。さ。ら。る。も。い。て。か。り。ぬ。も。清。ひ。あ。ら。る。を。お
も。へ。を。り。

○神号を奉る。天之某。國之某。と。を。す。ハ。或。ハ。それ。天。國
より。て。阿。部。玖。部。い。ど。く。或。ハ。天。之。國。之。ハ。か。り。り
を。それ。下。の。言。よ。る。こ。ハ。それ。名。の。さ。ま。ら。清。ひ。て。る。ぬ。る

又ぬりよりのむらゑり。

○此書コトゴト毎二。古出の注をアゲ挙る二。古上。古中某。古下某とシレ記せるハ。古下記上を。中巻某。下巻某。故あり。紀某と記せるハ。古紀のそれく此をあり。万と記せるハ。考へて二。三ありハ。是のついであり。幾イケヒラ丁と記すハ。考へて二。ぬりよりのむらゑり。それきとの。ひりのついでをアゲ挙る二。
○條毎二。それ声は清濁を示すシメふ。清二ハ。○と志る二。濁二ハ。●と志るす。あかゝがちの如き。上ニツカ○。下、か●ち○と志るすぶごとく。

○古事記假字清濁

カ 清加迦訶可甲 濁賀何我

キ 清伎吉棄紀貴幾 濁藝疑

ク 清久玖 濁具

ケ 清氣祁 濁宜下牙

コ 清許去古胡故高 濁其暮

サ 清佐左沙 濁邪奢

シ 清志斯師色紫芝 濁士自

ス 清須洲州周 濁受

岐を清は通用とあぐる。師の古下記は二妻。又師ハ棄と記す。善と定めぬれど。古紀万葉にも清善を用ひぬれを今ハ清とす。

世 音清 勢世 音濁 是

ソ 音清 曾蘇宗 音濁 叙

夕 音清 多他當 音濁 陀太

夕 音清 知智 音濁 遲治地

ツ 音清 都 音濁 豆

テ 音清 豆帝 音濁 傳殿

ト 音清 登等斗刀土 音濁 杼度騰騰

ハ 音清 波 音濁 婆

ヒ 音清 比肥斐卑 音濁 備毘

フ 音清 布賦 音濁 夫服

ヘ 音清 幣閉平 音濁 辨倍

ホ 音清 富本菩番蕃品 音濁 煩

○日本紀假字清濁

力 音清 加伽迦箇个軻訶柯舸可河歌 音濁 我餓俄鰓峨鴉

キ 音清 枳企機幾氣耆紀祇吉己棄基伎既岐祁奇支 音濁 疑擬

儀藝嶮蟻

ク 音清 句俱區久玖鈎矩屨寔苦衢 音濁 遇愚具娛虞

ケ 音清 計鷄開階祁慨概戒氣該替凱家啓居 音濁 礙導體覓

コ 音清 顧據固居虛故姑古去許舉苴凜孤 音濁 語馭誤御吾五

吳悟

サ 音清 佐瑳差作沙娑舍 音濁 裝特社藏

シ 音清 嗣志辞之時詩試芝始資斯絕施伺思旨指尸矢爾師子

茲 音濁 珥餌士貳自兒茸

ス 音清 素須殊輸秀周主酒葛 音濁 受儒孺

セ 音清 勢西齊劑制世細栖 音濁 筮噬

ソ 音清 曾贈層蘇沂素則諸所 音濁 叙序鋤如

タ 音清 多拖哆黨 音濁 陀娜太馱儻囊

チ 音清 知智筈致檄池 音濁 泥旒尼遲膩

ツ 音清 都菟兔屠 音濁 豆頭逗圖途怒

テ 音清 互底帝諦題堤 音濁 泥塗提耐涅穿

ト 音清 登鄧妬等苔斗刀杜屠覩都徒圖塗 音濁 度耐迺怒騰渡

ハ 音清 波播幡破絆簸幡巴 音濁 婆麻廢廢廢廢魔

ヒ 音清 比避辟譬辟被彼卑秘悲 音濁 弭寐備媚弥毗眉麻糸鼻

フ 音清 布輔赴存敷賦甫浮俯符不 音濁 夫丈步父牙部務焉

ヘ 音清 霸陛珮幣幣蔽閉背俳杯沛鞞 音濁 倍陪謎每鼓鞞

ホ 音清 保朋倍費褒衰報袍譜 音濁 煩

○萬葉集假字清濁

カ 音清 加迦架嘉可奇箇 音濁 何我賀河

キ 音清 伎吉企枳忌支紀貴奇騎棄綺寄 音濁 疑義祇宜藝

ク 音清 久玖君苦口九鳩 音濁 具隅求遇

ケ 音清 家計氣既祁奚雞結谿價々 音濁 牙礙宜雅夏

コ 音清 許已胡枯姑古故巨孤虛庫居去興 音濁 期暮吳後音其

カ 音清 佐左沙作散紗草柴 音濁 邪射謝社

シ 音清 志思之斯新進信指子紫司此旨水次式四詞詩偈師事

死 音濁 自士時慈寺緇盡

ス 音清 須周殊酒洲清數 音濁 受

セ 音清 世勢西施齊 音濁 是

ソ 音清 曾蘇僧則素增憎所宗祖 音濁 序叙俗

タ 音清 多他丹 音濁 太陀

チ 音清 知智陳耻 音濁 遲治地

ツ 音清 都追通 音濁 豆頭

テ 音清 亓天帝底提堤 音濁 佞尼泥泥代 提ハ多中ニシテ多ニルニ十ニルニ用

ひみりその中七処ハ袖ヲテ迄のテホテ定ラニ多クも定めり
袖迄のテハ多ク倍多のかるを用ひしる倍多れをニカれお
やさしきニしりて倍多としつ。五紀ニハ倍多ニ用ふ。提ハ
四卷ニ一処用ひしり。五紀も倍多ニ用ひしり。今ハ倍としつ。

ト 音清 等登斗刀澄得土 音濁 渡度杼騰藤特

ハ 音清 波播幡伴半盤薄芳方泊藐破八房 音濁 馬伐婆

ヒ 音清 比悲斐非飛卑必賓嬪譬 音濁 妣婢毗尾備鼻

フ 音清 布副不敷粉負否 音濁 夫扶

ヘ 音清 敝弊幣陛霸返閉遍 音濁 倍陪辨別便

ホ 音清 保寶富朋抱倍 音濁 煩

古言清濁考一之卷

○阿部

アカ

あかひ

神

かひ

阿加流比賣神
古中應神

あかひ

人

ひ

赤比賣

古下
継体

あか

播磨
地名

か

安可思

万十五

あか

豊國
地名

か

阿柯
紀安
閑

あかりがしは

着色

柏

下

か

安可良我之波

万十
二丁

あかしがち

醬酸

上

か

下

か

ち

赤加賀智
古上

阿箇箇鶴知

紀神
代

あか

赤玉

あ

阿加陀麻
古上
阿軒娜磨
紀神
代

あ

赤馬

こ

難定

阿箇悟馬

紀天
智

阿加胡麻

万九
丁
九

十四
丁
安可故麻
十四
丁

あかは

名

上

○古言考一

○九

下、か、ぬ、^ト ● 阿箇潘娜我等母 仁紀垂 あかみ 年号

空 ○ 阿訶美苔利 紀天 あかぬ 枕 さ ○ 安可祢

佐須 万十五、一丁 あかつ 垢 かつ ○ 阿加都担 万元、一丁、阿

可都久 万十五、一丁 あか 暁 せ ○ 安香等吉 万十五、一丁、言

万葉集、後あか 異多、ぬ、バ、セ、フ、セ、フ、後世 はアカツキ といふも、古きものはアカトキといふあり あか ア

ほれ 道、明、通 かせ ○ 阿加斯氏 柙富礼 古下 柙 を用ひ

と、ま、と、古、記、カ、ク、の、め、ま、ま、れ、ハ、あり、同、成、小、ヤ、マ、豆、ク、リ、雄 異、候、又、ハ、エ、フ、ハ、ヤ、具、仁、徳、段、ハ、ツ、昆、ニ、シ、ラ、ト、み、ど、あり、言、の、ま、め

て、カ、ま、ハ、の、次、ま、ほ、る、ハ、ま、ま、く、る、ま、ま、く、他、の、ま、ま、つ、く、言、ハ、ま、ま、れ、ハ、ほ、る、ま、ま、の、格、と、名、申、於、大、斗、能、辨、神、余、ま、ま、く、り、

あか 名 か ● 阿俄能胡 紀仁 あか 足摩 上、

か ● 下、か ○ あ も 阿賀加尔 古下 あか 馬、足 か

● 安我伎 万十四、一丁 あが 高へ か ● 安我里 万十七、九丁

あかり 瓊 か ● 阿餓利 紀神 あが 賈 か ● 安

賀布 万十七、五十一丁 あ ハ、卷、加、を、用、ハ、不、正 あ 班 か ● かい

ふさ阿宜 古下 秘阿 紀都 今 中、ハ、細、波、賊、都、と、あ、る、誤、ハ、阿、の、誤、り、る、べ、し

アキ

あさび 先 神号 ひ ● 秋毗賣 神 上 古 あさづ 先 神号 つ ●

ひ ○ 秋津比賣 神 上 古 津 ハ、か、る、ハ、あ、る、ね、ど、伊、豆、能、賣、神、と、同、神、り、と、り、ハ、作、の、考、へ、よ、う、て、は、

定 を、つ、て、凡、て、固、号、ハ、虫、の、名、也、ア、キ、ツ、の、ツ、ハ、皆、乃、る、ほ、る、り、 あさづ 先 神号 つ ● ひ ○

秋津師比賣 命 上 古 あさづ 先 神号 つ ● ひ ○

阿岐豆志麻 古下 雄 畧 女 紀、ハ、不、正 あさづ 蜻蛉

○ 後考

○ 十

つ ● 阿岐豆 古下 雄畧 万葉十、五十八丁。秋都葉尔多る衣とあるハ師の説、尔と云、辞を以てみれば、

秋の紅葉をいへるよて **あさ** 人名、大和地名。 さ ○ 安貴王 万三、六丁

阿騎比世 一丁、六 **あさ** 鳥名、 さ ○ 秋沙 万七、九丁 **あさ**

く 着秋 つ ● 秋豆氣婆 万十八、七丁、安吉豆吉ぬく 十五、十八丁 **あさ**

都を用ひよ **あさ** 秋方 かけ ○ 秋加多麻氣

氏 万十五、十丁 **あさ** 不飽 足 **あさ** 商を頻す

志 ● 商自許里 万七、五丁 **あさ** 不飽 足 **あさ** ○ **あさ**

● 安伎太良奴 万五、十七丁 **あさ** 名國 **あさ** ● 阿岐 古中神武

安藝 紀仁徳、万十五、十丁 **あさ** 姓 **あさ** ● 阿藝那、臣 古中孝元 阿祇奈、

君 録 氏 万紫十四、七丁、がりの安伎。 **あさ** 我 **あさ** ● 阿

藝 古中仲良、 紀神功。 **あさ** 昨曰アキは我君トヒは事向トヒあるべし。 **あさ** ● **あさ** ○

阿藝登比 古中 聖仁 **あさ**

あくやひ世 人名 **あさ** 阿久斗比賣 古中 喉曰阿、安寧 久乃、神、

社、津、園、崎、上、郡、ま、あり、此社、芥川村、あり、 **あさ** 秋 **あさ** ○

飽田 万七、七丁、 **あさ** 地名 **あさ** ○ 飽等比濱 万

一、四十 **あさ** 座 **あさ** ● 阿具良 古下 雄畧 阿娑羅 月 紀 **あさ**

ぬま 新羅、園、沼、名 **あさ** ● 阿具奴摩 古中 應神

アコ **あさ**

あさ 名人 **あさ** ○ 阿古志 統紀持 **あさ** 地名 **あさ** ● 阿

○ 阿古志 統紀持

○ 阿

万十五、
十四丁

あさねがみ

朝起し時
の髪

か ●

安佐祢我美

万十八、
十四丁

あさなさな

々朝

さ ○

阿佐奈佐奈

万九、
十二丁

あさな

朝菜

さ ○

安佐奈

万十四、
十七丁

あさしほ

潮朝

し ○

安佐之保

万九、
三丁

あさぢせせ

酒進
訶

を ●

さ皆 ○

阿佐受

表勢佐佐
古中
仲哀

阿佐孺塙齊佐佐
紀神
功

あさてこぶ

麻布

衾

て ○

ふ ●

安佐提古夫須麻

万十四、
十九丁

アサテのテは
タへの約りと

あさねをほへい。虫紀神代
和幣を尼枳底とよめりて

あさはり

糾

さ ●

は ○

阿藏播梨
紀継
体

あさみつひ先

名人

さ ●

つひ ○

阿邪

美都比賣命
古中
無仁

あさみのいりび先

名人

さひ ●

阿邪

美能伊理毗賣命
古中
無仁

あさむく

欺

さ ●

阿射益加受

万五、
十四丁

アシ

あしかびひこぢ

号神

か ○ ひち ●

阿斯訶備比古遲神

上古

あしあふか

号神

か ○ 葦那陀迦神

上古

あし

なづち

号神

つ ●

脚摩乳
代紀神

あしひふ

名人

しひふ皆

○ 阿斯比多明
紀欽

あしが

相模
郡名

か ●

安之我良

四十丁、
十四丁

加を用ひ
るハ不正

あしほやま

常陸
地名

しほ ○

安之

保山
万十四、
四丁

あしさぬ

筑前
地名

さ ○

蘆城野

万八、
四丁

訓多れども古書に皆ほ
用ひゆりも此をくえべし

あし

悪

し ○

安之伎

万十五、
二丁

あし

足

○ 阿斯
古中
景行

あしぢり

悲泣
足摩

を ●

○ 法考一

○ 十三

あせか 東園地名 せか 安齊可我多 五六丁 阿世 我世

○ 阿勢 古中仲良 紀神功 せ 阿世 内宮後 外

かるあまのれを 姑くよりぬ 何と云同 但東語 せ ● 安是 七十四 阿そ

朝 臣 阿曾 古下仁徳 万 阿そ 肥後又下 野郡名 阿

蘇 古中安素 万十四 阿そび遊 阿蘇婆勢 古中阿

蘇寐 紀武阿素 毗八丁 阿蘇夫 丁 万多 又信多の かしら 阿

阿そ 浅々 阿そ 皆 安蘇蘇 三四丁

アタ

あむ 惜 阿多良すげ 免 古下仁徳 阿拖羅 雄 紀

畧 安多良さかり 万十 五丁 新 安多良安多

良 万十 一丁 阿多尼 上古 阿多波志都

○ いへ 阿多理 履中 阿多 阿多 阿多

上古 阿黨播怒 代紀神 阿多か 阿多 阿多

毛 万十九 丁 阿多ゆまひ 師曰 阿多 阿多 阿多

あむ 仇 安多 万十 八丁 阿多 阿多 阿多

神武紀天 此地名 阿陀比賣 神 阿陀 阿陀

古中 阿陀陀音可 濁讀 和名 阿陀比賣 神 帳 阿陀

陸奥 郡名 上 阿多 阿多 阿多 阿多

あむ 他 阿多 阿多 阿多 阿多

○ 阿多 阿多 阿多 阿多

○ 阿多 阿多 阿多 阿多

今の世は... 阿多 阿多 阿多

アチ

あち 姓 ち○ 阿知直古下 安致中 臣紀 雄雄 あちは さふか

ひこね 号神 ち● ひ○ 阿治志貴多迦比古泥能迦古 微上

阿泥素企多伽避顧祢代紀神 あち味アチスキタカヒコネ 味味 相相 高高 彦彦 根根

神カミ 代紀神味村アギムラ 二万四丁十 上上 条条 とと べべ あちまぬ 名地 ち●

安治麻野 万十五丁六 ち● さ○ 阿遲摩

佐能志麻仁古徳下 あちかま 名地 ち● か○ 阿遲可麻十 万

四丁 二 ち● 津津 園園 ち● ふ○ 阿臍賦徳紀孝 鱒アギ 生生 野野 続日

八丁 八 ち● ち● 留留 善善 ちち 上上 あちさなく 益益 毎毎

遲遅 万十四丁二 安治む五丁 ち● 知知 を用ひる あちさなく 益益 毎毎

ち● 小豆アヂキ ち● ち● 應神紀應神紀 小豆アヂキ ああ 阿豆阿豆 根根 辞辞 摩摩

あぢさはふ 詞目枕 ち● さふ○ 味澤相アヂサハ 八丁十 あち

さね 紫陽花 ち● さ○ 安治佐為万丁四 十六丁

アツ

あつー 厚 つ○ 安都美万丁八 あつみ 人名人名 又又 美美 つ

○ 厚見王アツミ 七丁十 あづみ 濃濃 郡郡 名名 つ● 阿曇連アツミムラジ 古古 上上

録 曇曇 は 信信 吉吉 の 字字 ああ れれ だだ あづみ 名名 人人 つ● 阿豆王阿豆王 古古 下下

史紀史紀 八厚王とあ ち● ち● 安豆麻治万丁十 四丁十

七丁 七 あづさ 嶋嶋 名名 又 ち● さ○ 小豆嶋アツキ 古古 上上 阿豆阿豆 根根 辞辞 摩摩

神紀應 神 あづなひ 名名 罪罪 つ● ひ○ 阿豆那比之阿豆那比之 罪罪 紀紀 神神

○ 徳富考一

○ 十六

あづさ 梓木名 つ ● 阿豆佐由美 古中應神紀仁徳 万十四、六、四丁 万都

あづさ 正用ひくま 正一うま

アテ アト

あて 紀伊郡名 て ● 阿提郡 紀持 足代 万七、十 姓、又近江地名

あて 阿斗 紀天 阿刀 録 姓 氏 万九、七、二、渡を 用ひくま 正

あて 安刀 万十五、十二丁 神代紀 万度 用ひくま 正

あて 阿都圖 喇 紀 継 皆 ○ 阿都圖 喇 鳥 子 阿等利 万七、六丁

あて 阿村 万十五、十四、八丁 阿村 万十五、十四、八丁

あて 阿村 万十五、十四、八丁 阿村 万十五、十四、八丁

あて 阿村 万十五、十四、八丁 阿村 万十五、十四、八丁

十七、七、八、登を用ひくま 今ハはるまきよりつ、登を用ひくまの処も多ク用ひくま

アナ

あな 此説古 記 万一 阿那途夜志 上古

あな 穴大部王 古下 地名 和 一 ○

あな 穴師 姓 氏 病足 万七、六丁

アハ

あは 阿波 旒 辞 摩 紀 應 安波治 万十五、十二丁

あは 阿波 紀 景行 万 六、七丁 名 東 國 安房 万九

あは 美濃 郡名 ち ○ 安八磨 郡 紀 天 安八 郡 和 名 抄

あは 安幡 万七、七丁 安幡 万七、七丁

○ 法考一

○ 十七

● ふ○ 安波妣多麻 万十八、廿三
あはれ 詞 歎息、は○

阿波礼崇神 紀 2 婆を用ひ
あはふ 生 粟 ふ○ 阿波

布古中阿波赴同紀
あはち 放 畔 はち○ 阿波那知 古語拾遺

神代紀 2 豆を用ひ
あはさ 憶 はさ○ 阿波岐 古上紀 神代

あはごま 逢 不 花 ● 安波受麻 万十五、廿六丁 是 2 ひ とも

あはのぬ 名地 は ● 阿婆努 紀 皇 阿婆乃野 万七、四十一丁

あひつ 名 人 ひ皆○ 阿比良比賣 古中 神武 大隅、国始 羅 郡も此 涉名

あひづ 郡名 陸奥、 つ ● 安比豆 万十四、十五丁 あ

あひ間 名地 ふ ● 阿比陀 万五、五丁 安比太 万七、八丁 あびこ 人名、又地

孫名、吾 ひ ● 阿毗古 古中 阿弭古 紀 景行 仁 徳 比 用 ひ とも 不 正

あび 地名 紀伊、國、 ひ ● 阿備 紀 景行 行

あふみ 名 國 ふ○ 阿布美 古中 阿甫弥 紀 顯 宗 あふさかや

ま 名地 さ○ 安布左可山 万十五、廿九丁 あふち 棟 ち○ 安

布知 万五、六丁、十七、十丁、十一丁 あふぶ 仰 ふ○ く ● 阿布執 万五、

四十丁 あふさわ 同 閑 2 さ○ 相佐和 万八、廿七丁 あふ 逢 又

合 ふ○ 阿布 古下 阿波牟 仁 阿閉 紀 允 安波ざれど 万十、五、

七丁 万紫元、五十二丁、二丁、阿 倍とあふハ不 正 あふ 油 ふ ● 阿夫良 古下 雄 畧

万十八丁、十八丁 あふみ 鑑 ふ ● 安夫美 万十七、四十九丁 あふさほ

○ 佐 考 一

○ 十 八

ともあり。但し。互ハ。ほろの。処も。多く。用ひ。ぬり。泥ハ。ほろ。多。あり。とも。ア。テラス。とり。お。言。今。の。世。も。て。清。き。ふ。と。う。れ。を。い。か。あ。さ。れ。ど。ち。り。記。性。多。段。よ。あ。さ。ひ。の。ひ。傳。流。も。あ。れ。を。清。く。て。ほ。ろ。べ。く。ハ。あ。れ。ど。か。け。ま。く。も。か。し。こ。き。大。佛。神。の。名。あり。あ。れ。を。あ。ら。け。お。ハ。定。め。ぐ。く。る。も。

あまぶむ

天飛

ふ

阿麻陀牟

古下

阿摩儂西務紀

日

こは

トブのトを。タ。又。通。ハ。フ。を。ム。又。通。ハ。し。て。い。へ。る。タ。を。ほ。ろ。ハ。ち。へ。の。言。後。二。年。又。あ。ま。陀。牟。と。あ。る。ハ。交。り。て。誤。り。り。し。

くも

あま、輕、

く

安麻久毛

万十四、

丁、

万十四、

丁、

万十四、

丁、

十一
あまがけり

翔天

か

阿麻賀氣利

万五、

丁

圍ガ

ケリ

も。多。く。て。か。と。ほ。ろ。を。い。ハ。ト。ビ。カ。ケリ。は。ヒ。を。ほ。れ。を。か。と。ほ。ろ。ム。

安麻曾曾理

万十七、

丁

あまぢ

路天

ち

阿麻遲

万五、

丁

麻治

月四

十丁

あまごもろ

隱雨

こ

安麻其毛理

万十五、

丁

あまぶぬ

船海人

ふ

阿麻夫祢

万十七、

丁

あまふ

多數

ふ

○ 安麻多 万十五、
十七、
丁、
四十五丁

あまひ

微物の

ひ

阿摩比

上古

アミ

アム

アメ

あみけり

網張

は

阿弥播利

代紀神

あむぎ

伊勢、
郡名

さ

奄藝阿武義和名抄

あむち

大和、
地名

ち

淹知
上古

あそくふおしはるさひろおは

欽明天皇

は

天國押

波流岐廣庭命 古下 欽明

あそつち

地天

つ

阿米都知

万九、
丁

丁、
万十五、
丁、
万四、
丁、

あそひや

京の

ひ

安米比度

万十八、
丁、

度

用ひしは、
正しきす。

アヤ

アユ

あやかしのぬ

神号

かしの皆

阿夜訶志古泥神 上古

あ

○ 法皇考一

○ 二十

加賀色許男古中崇神

いかほ

上野地名

かほ○

伊加保伊可保

万十四、十三
丁、十四丁

いかこ

姓、又近江地名

こ○

伊香胡山

万十三、七丁

神名帳、ハ伊香具神、社、今ハ唐名トシテ、天武紀、ハ膳香瓦、臣阿倍トシテ、人、名も見也。

いかみ

笈

五十日太カニカ丁

いかり

石重

か○

大船のかと

りの海、又、慍イカあ、い、か、る、人、の、あ、い、も、い、ま、い、む、
一、万、十、八

丁 いかしほこ

巖

かほ○

伊箇之保虚

明細舒

は、イ、カ、シ

あるりあり。かほ、延、式、ハ、賀、を用い、
と、ハ、今、俗、ハ、イ、カ、メ、シ、と、い、ふ、れ、あり。

いかしひ

日重

かひ○ 伊柯之比紀皇

いかくる

隠

か○

伊

加久流古下雄畧

いかさ

い、発語

か○

伊可伎

万八、三丁

い

がくろ い、発語

上、か

下、か○

伊賀加流

万十四、八丁

い

がへり い、発語

か

伊賀幣理古下異餓幣利紀

い、発語

か○

い、発語

の、い、の、下、ハ、イ、ガ、ヘ、リ、の、イ、ハ、ル、
ハ、イ、ガ、ヘ、リ、ガ、ヘ、リ、の、イ、ハ、ル、

いが

か

伊賀比賣命古中

紀雄畧

い、が、み

いがひ光 名人

か

ひ○

伊賀比賣命古中崇神

い、が、み

らしひこ 名人

か

伊賀帯日子命古中垂仁

イキ

いさ 名國

さ○

伊伎上古以祇紀

万葉十五、卷、ハ、由、吉、と、

も、あり、又、岐、を、用、ひ、と、

い、さ、だ、は

ハ、不 い、さ、る

い、さ、る

さ○

伊枳羅牟紀

仁

い、さ、だ、は

る 思、事、の、心

や

異枳迺倍呂之紀神

伊伎騰保流万十

九、十

丁一 い、さ、づ、さ

さ○

つ

伊岐豆岐

古中

應神

万五、六丁、七、八丁

十七、四 都

継

継、を、用、ひ、と、ハ、不、心、又、息、と、

い、さ、の、と

緒

さ○

○ 伊賀考一

○ 七三

伊吉能乎 五十八, 卅四丁

イク

いくまきまきさきまきい光 神号 比○ 活玉前玉比賣 上古

くまび 神号 比○ 比○ 神活須昆神 上古

こいさち 垂仁天皇 比○ 比○ 伊久米伊理毗 古伊

佐知命 古中 比○ 神号さきぬ人の名さきぬイリビコイリビメ

羽田之入毗賣 阿耶美能伊理毗賣 布多遲 能伊理毗賣 比賣 皆乃るのかまを用ひたり

免 人名 比○ 活玉依毗賣 古中 某よりひえとりゆ海名

比賣 總五百依比賣 香用理比賣 換依毘賣 命玉依毗賣 稻依

くてヒコとりゆハ飯依比古のさき

● 伊久治 續日 比六 比○ 伊句辟 神紀 崇 伊區比

明舒 比六 比○ 伊久比 古下 比○ 伊久理 古下

伊久理のも 比六 比○ 伊久比 古下 比○ 伊久理 古下

仁徳 五二 異句理 神紀 應 比○ 伊久美陀氣 古下 雄畧 以矩美娜開 神紀 繼

さ○ 伊久美陀氣 古下 雄畧 以矩美娜開 神紀 繼 比○ 伊久陀

九丁 伊久良 十七, 比 比○ 伊家流 五十八, 十七丁

イケ イコ 比○ 伊開 神紀 繼 比○ 伊家流 五十八, 十七丁

いけ 池 比○ 伊開 神紀 繼 比○ 伊家流 五十八, 十七丁

け○ 伊許婆夜和氣命 古中 垂仁 比○ 伊家流 五十八, 十七丁

○ 伊許婆夜和氣命 古中 垂仁 比○ 伊家流 五十八, 十七丁

○ 伊許婆夜和氣命 古中 垂仁 比○ 伊家流 五十八, 十七丁

○ 伊許婆夜和氣命 古中 垂仁

○ 伊許婆夜和氣命 古中 垂仁

○●難定 伊高岐那紀天 **いこまやま** 大和地名 ころ伊

故麻山五十五丁 **いごのふ** 考未 ころふ○ 伊基能布古中神武

イサ

いさちもくぬ 名人 さちも皆○ 伊佐智須區祢紀神功

さいもくぬ 名人 さひ○ 伊佐比宿祢古中成務 **いさつ** 泣

さ○ 伊佐知流上古 **いさよやめ** 海の枕討 さや○ 異舎儼

等利紀允 **いさみ** 勇 さ○ 伊佐美五十九丁 **いさ** か

聊 さ皆○ 伊佐左可五十九丁 伊左佐目七丁 **いさ** 功

さ○ さハそと通ひてはささハいそ **いさ** 石小 さ○

こ●異佐誤紀神功 **いさ** 不知多イサ さ○

有岳之不知紀神功 不知也河不知イサ ととととせ五十一丁 ころ

こころ **いさ** 物 **いさ** 物

布古中景行 射左欲比五十三丁 伊佐欲比十四丁 伊佐用

近江地名 さ○ 不知哉川五十四丁 **いさ** 伊豫地名 さ○

射狭庭五十三丁 伊佐尔波神社帳 挟ハ訓多めども古書

いさ 神 ささ● 伊邪那岐神上古 伊射奈藝命丹後

記 出雲風土記ニ根を用ひ延喜式ニ伎を用ひころハ不正んてナ

藝神類那美 **いさ** 神 さ● 伊邪那美神上古 **いさ**

さわけ神 上さ● 下さ○ 伊奢沙和氣大神古中

○ 後編考一 ○ 五

イス

いそとさひえ

名人

ニッ、ヒト、ヒト、ヒト、ヒト

富登多々良伊須須

岐比賣命

古中神武

ニッともふ。らつふも。ニッともふ。らつふも。

いそけふりひえ

名人

をけひ

比賣多々良伊須氣余理比賣

古中神武

ひえふ。らつふも。

ニッともふ。らつふも。

いそ

地名

上、を、下、を

伊須受能宮

上古

いそとほし

鯨の枕

く、伊須久波斯

古中神武伊珠區

波辞

同紀

イセ

イソ

いせ

名國

せ

伊勢

古中神武紀景行、万、十四丁

伊齊

紀神武

いそつか

み

大和地名

そ

石上

古下履中、紀仲、長、万、六、丁

伊須能箇添

紀武烈

神名帳。伊勢、同。伊蘇上、神、社も、伊。

いそ

い、祭語

いそ

磯

いそ

地名

そ

伊素末

いそ

い、祭語

そ

伊蘇比

古中神武

いそ

い、祭語、俗言のソバ

いそ

い、祭語

は

伊蘇婆比

万十三丁

いそ

姓功

又

そ

伊

蘇志 紀仲哀、續日、十七、姓氏録、伊蘇波久

万一丁

いそ

今り

用を

こ

難定

己蘇伎

万九丁

一処の

イタ

いそ

名人

いそ

ひ

伊拖寐

紀安

いそ

い、祭語

いそ

伊多牟流

万九丁

いそ

至

いそ

伊多流

古中神武

いそ

戸板

いそ

いそ

伊多斗

古上、万九丁

はる、誤、又、陀、を、用、い、は、不、正

○ 後考一

○ 九七

いぶづ

徒 つ ●

伊多豆良

万五十九丁
十七、十九丁

いぶき

頂 上、いぶ ○ 下、いぶ ●

伊多太伎

万九、十丁

いぶて 手痛て

○ 伊多色 古中仲哀 紀神功

いぶは

伊多久 古上伊多とすべり 万

伊多波斯

万五、九丁

いぶく 甚

いぶく 抱

いぶけ

五、九丁

いぶく 抱

いぶく 武太伎 万十四丁

いぶけ

名社 ぬ ● けそ ○

伊太祁曾 続日ニ神名帳和名抄

イ千

いちさ まひ 免

号神

い ○

市寸嶋比賣命 上古

いちひお

姓又 地名 比 万十六、

い ○ 壹比韋臣 古中懿徳

いちひ 木名

い ○ 伊智

比 万十六、

い ○ 壹比韋臣 古中懿徳

いちびこ 地名

ち ○ ひ ●

伊致麻姑 紀雄 畧

いちい ま

地名 近江

上ち ○ 下ち ●

伊知遲志麻 古中 應神

いちし

伊勢郡名 又花名

い ○ 壹師君 古中懿徳

壹師花 万十一丁

いちさ かき

木名

い ○ 伊知佐加紀 古中神武

同紀 ち市

ち ○

伊知雄 畧下

いちさ ろ

白明 志 ○

伊知之路 久 万十七、十六丁

いぶる 八

イツ

いっひこ

人名

いっひ ○

伊都都比古 紀垂 仁

いっは

前越

地名 名 っは ○

伊都波多 万十八丁

いっさ

いっさ

いっさ

伊菟岐 徳紀仁

いっくも

いっくも

いっく

いっく

いっく

いっく 齋

いっく ○

伊都久 古上 万十九、九、十丁

いっく

いっく

いっく

いっく

○ 漢考一

○ 元八

伊都 万十五、四
丁、八、丁。

いつも 藻

伊都 万四、十
三、丁。

つがり 副と云、
二近し。

つか 伊都我里

万九、九、五、丁
十八、六、丁

つやせ 五

つや 伊都等世 万五、九、六、丁

つや 新と云れを古へ

つや 五

つや 伊都等世

つや 伊都のよはぢり伊都のよはぢり

つや 新と云れを古へ

つや 五

つや 伊都等世

つや 伊都のよはぢり伊都のよはぢり

つや 新と云れを古へ

つや 五

つや 伊都等世

つや 伊都のよはぢり伊都のよはぢり

つや 新と云れを古へ

つや 五

つや 伊都等世

つや 伊都のよはぢり伊都のよはぢり

つや 新と云れを古へ

つや 五

つや 伊都等世

つや 伊都のよはぢり伊都のよはぢり

つや 新と云れを古へ

つや 五

つや 伊都等世

つや 伊都のよはぢり伊都のよはぢり

つや 新と云れを古へ

つや 五

つや 伊都等世

つや 伊都のよはぢり伊都のよはぢり

つや 新と云れを古へ

つや 五

つや 伊都等世

つや 伊都のよはぢり伊都のよはぢり

つや 新と云れを古へ

つや 五

つや 伊都等世

つや 伊都のよはぢり伊都のよはぢり

つや 新と云れを古へ

つや 五

つや 伊都等世

つや 伊都のよはぢり伊都のよはぢり

つや 新と云れを古へ

つや 五

つや 伊都等世

つや 伊都のよはぢり伊都のよはぢり

つや 新と云れを古へ

つや 五

つや 伊都等世

つや 伊都のよはぢり伊都のよはぢり

つや 新と云れを古へ

つや 五

つや 伊都等世

つや 伊都のよはぢり伊都のよはぢり

つや 新と云れを古へ

つや 五

つや 伊都等世

つや 伊都のよはぢり伊都のよはぢり

つや 新と云れを古へ

つや 五

つや 伊都等世

つや 伊都のよはぢり伊都のよはぢり

つや 新と云れを古へ

つや 五

つや 伊都等世

つや 伊都のよはぢり伊都のよはぢり

つや 新と云れを古へ

つや 五

つや 伊都等世

つや 伊都のよはぢり伊都のよはぢり

つや 新と云れを古へ

つや 五

つや 伊都等世

つや 伊都のよはぢり伊都のよはぢり

つや 新と云れを古へ

つや 五

つや 伊都等世

つや 伊都のよはぢり伊都のよはぢり

つや 新と云れを古へ

つや 五

つや 伊都等世

つや 伊都のよはぢり伊都のよはぢり

つや 新と云れを古へ

つや 五

つや 伊都等世

つや 伊都のよはぢり伊都のよはぢり

つや 新と云れを古へ

○ 伊豆 万十四、
四、丁。

いつみ 泉、又地
名、围号。

○ 九

伊豆美の

へ ○ 嚴倉此云、怡途背、
紀神

いつののみふま 浄

いつのかさり 清浄

いつの 清らるる
器

撞賢木嚴之御魂、
紀神

いつののみふま 浄

いつのかさり 清浄

いつの 清らるる
器

て咒術
を為し。

つ ○ 志 ○ 怡途能伽辞離、
紀神

いつののみふま 浄

いつのかさり 清浄

つ ○ 伊豆志をやめ、
伊豆志之八前大神、
古中伊

いつののみふま 浄

いつのかさり 清浄

いつの 清らるる
器

豆志坐神、社延、
式

いつののみふま 浄

いつのかさり 清浄

いつの 清らるる
器

万九、十、
九、丁、

伊豆手乃船、
日四十、
九、丁、

いつののみふま 浄

いつのかさり 清浄

名 围

つ ○ 伊豆毛、
古中伊頭毛、
日

いつののみふま 浄

いつのかさり 清浄

名 围

つ ○ 伊豆毛、
古中伊頭毛、
日

いつののみふま 浄

いつのかさり 清浄

名 围

つ ○ 伊豆毛、
古中伊頭毛、
日

いつののみふま 浄

いつのかさり 清浄

名 围

つ ○ 伊豆毛、
古中伊頭毛、
日

いつののみふま 浄

いつのかさり 清浄

名 围

つ ○ 伊豆毛、
古中伊頭毛、
日

いつののみふま 浄

いつのかさり 清浄

名 围

つ ○ 伊豆毛、
古中伊頭毛、
日

いつののみふま 浄

いつのかさり 清浄

名 围

つ ○ 伊豆毛、
古中伊頭毛、
日

いつののみふま 浄

いつのかさり 清浄

かハ 十丁 出見河 一丁

いづくいづちいづいづれ

何

つ ● 伊豆久 古中 伊豆知 八丁 伊頭礼 七丁 伊豆良 十

丁 都を用ひる

イテ

いでは 名國 て ● 出羽 知名 社名帳 伊波神

いぢ 立出 て ● 伊傳多知 古下 伊尼多多武 六丁

雄畧紀 伊底 拖智 万葉十八

いで は 志り 走出 は ○

出波之利 八丁

いで まい 幸行

て ● 伊提麻志 紀天

いで ませ 坐御

て ● 伊提麻栖 智紀天

万葉 伊提麻志 紀天

いで 語榮

て ● 異提 紀元 伊底 十丁

イト

いぢえわけ 名人

いぢえ 伊登志別 王 古中 無仁

いぢぬひ光

名人 ひ ○ 糸井比賣 古中 行

いぢ 筑前 紀 伊郡名

いぢ ○ 伊斗 古中

仲 伊親 旧紀 伊刀 武 伊都 知名

いぢ 糸

いぢ ○ 伊刀 六丁

いぢ 甚

いぢ ○ 伊等 七丁

いぢ 伊刀 七丁

いぢのさて 除甚

いぢ ○ 伊等乃伎提 万五丁

いぢ 万五丁 伊刀 七丁

いぢ 獣 伊斗良牟

伊登波祢 九丁

いぢ 取 伊登波

いぢ ○ 伊斗良牟

古中 伊刀良斯 三丁

いぢ 暇

いぢ ○ 伊刀末 十八丁

一丁 伊豆 麻

いぢ 師曰 人親

いぢ ○ 伊刀

古上 伊徒姑 功紀神

いぢ 挑

いぢ ● 伊杼美 古中 崇神

○ 伊豆考一

○ 三十

イナ

いなせびこ

名人 比

稲瀬毗古王

古中 垂仁

いなひ

名人 比

○ 稲飯命 武紀神

いなうりび

名人 比

河股稲依毗

賣 古中 用化

いなび

人名 播磨 地名

比

伊那毗郎女

古中 景行

りむい

蝦夷 人名

○

伊奈理武志

武志 紀持

いなぶ

姓

比

伊那陀宿祢 古中 應神

いなさ

姓

稲置

古中 安寧 置ハ

あぬどほる

いなさ

稲城

○

稲城

古中 垂仁 城ほるべ

いなさ

出雲 大和 地名

○

伊那佐之小濱

古中 伊那佐のやま

神 伊那瑤のやま 同紀

いなさほそえ

地名 遠河

は

伊奈佐

保曾 江 万十四丁

いなは

園名 又 稲葉

は

因幡 紀雄 畧 知名抄

ハ

正しきと能きまのあしぬどほるべくあもをふんて園号るべい今の世は用ふる文字もほるはををく送るが出中丹波を瑤武志を伊を甲斐文相接るどあもひあますべい

イニ

イヌ

イノ

いのは

下 総 郡名

は

印波 万九丁

今の俗はインバとほるはまほる

ぬひ光

神 号

ひ

伊怒比賣 古

いのち

命

伊能

知 古 伊能致 紀雄 畧

イハ

いはつちびこ

神 号

比

石土毘古 古

いはちび光

神 号

ひ 石巢比賣 古

いはながび光

神 号

ひ

石長

比賣 古

いはさく

神 号

さ

以 簸婆窶根 裂衣神 紀神 代

○ 法皇考一

○ 比一

はつさび先 名人
ひ ● 石衝毗賣命 古中
いほのひ先 名人

ひ ○ 以破能辟謎 紀仁
いほのわくのこ 名人
いほのひ先 名人

○ 磐飲時和句之子 紀神
いほぬぬ 地名馬
いほのひ先 名人

多野 万十五, 卅四丁
いほせぬ 地名
伊波世ぬ 卅七丁

はれ 地名和
は ○ 以難例 紀継
いほむ 集群
は ○ 屯聚

居此云怡波潞姜 紀神
いほひ 延 祭語
は ○ 伊波比 中古

紀神武
いほひ 齋
ひ ○ 伊波比 卅五, 卅九丁
伊波布 卅九, 卅四丁

紀 比 不用
いほひ 神祭の時備
は ○ 伊波比 弊

万卅, 卅二丁
倍 不用
いほつ 無 祭語
は ○ 伊波都流

万十八, 卅二丁
いほく 磐
く ○ 以難矩羅 紀神
いほほ 磐

は ○ 伊波保 卅七丁
いほがぬ 磐
か ● 伊波我祢

万十五, 卅四丁
いほの 上岩
へ ○ 伊波能杯 紀皇
いほぬ 磐

立 岩 上
いほぬ ○ 伊波多多須 古中仲良
いほさ 岩木

○ 伊波紀 卅五丁
いほぬ 岩の疑
上, 卅 ○ 下, 卅

● 石根許其思美 卅三, 卅四丁
許其志かもしいほのかむらび七

四十丁
いほぬさくみ 師のち記持見人の面のぬくぢりあるを
さくくつと云ふ同く岩の凸凹ある

上を通 行を云
く ○ 伊波祢左久美 卅二, 卅九丁
いほく 崩 山石

く ○ 以播區娜輸 紀仁 伊波久譽 卅四丁
いほい 崩 山石

岩間を水 流
は ● 伊波婆之流 卅五丁
いほのつ 是 一種

の蔓 草
つ ○ 伊波爲都良 卅四丁
○ 法皇考一
○ 二

へつ々 家 っ ● 伊敷豆刀 万十五、廿八丁、伊弊頭刀 廿、卅、都志用ひ

いへざかり 家 ざ ● 伊弊社可利 万五、九丁

いへざばく 家 々 ● 伊弊村保久 万十五、廿九丁

いへこひ 家 こ ● 伊弊胡悲之伎尔 万十五、十六丁

つく 家 つ ● 伊敷都可受 万十五、十六丁、伊敷都久 卅、一丁、家云

いほまる 人 ほ ● 伊保麻呂 万九、十七丁、いほち 五百、一都二都

イホ

とり 都 同 ぼち ● 伊本知 古下雄畧、伊保知 万十八、廿三丁、按 二、三、十、四、十、六、十

ぼつ 五百、繩 延 っは ● 五百都々奈波布 万十九、四十四

いほつや 鳥 五百 つや ● 伊保都登里 万十七、四十五丁

いほふ 五百、斧 柄 ぶ ● 伊褒甫流 紀雄 署、いほ庵 ぼ ●

伊保 万葉 多々

イ

いよさ 地 名 さ ● 伊磨紀 紀有、いよ 汝 一 ● 伊麻

思 万十四、五丁、いよさ 今 更 さ ● 伊麻佐良 万十五、卅二丁、いよ

○ 法隆考二

○ 卅四

未 ● 伊麻陀上古伊麻娜紀體 繼拖多他不用ひ

まをいませ 行 せ ○ 伊麻須古下 伊麻勢功紀神

まを おハ一 ますこ せ ○ 伊麻須古下 伊麻輸功紀神

イ三 イム イモ イヤ

いみがこ 名人 か ● 伊美賀古王古下 欽明 姓 さ ○

伊美吉万十九, 卅一 いみづかは 越中, 圍射水, 郡ある川, 名 つ ●

か ○ 伊美豆河波万十七, 四 河を用ひてはハ正し。又 都を用ひてはハ正し。又

いむかふ 昨曰。むむか 敵みむか か ○ 伊牟迦布上古 いもせ 男妹

せ ○ 身世万二, 卅六 仁賢紀是を用 ひくはハ不正。 いやちこ 然灼

ちこ ○ 以耶知舉紀景 行 いやてめ 照 弥 て ○ 伊夜底里

万十八, 卅一丁 いやぬか 高弥 ぬ ○ 伊夜多可万卅, 卅四 いやせ

ほ 遠弥 や ○ 伊夜等保万十八, 卅三 いやぬて 弥言立 ぬ ○

伊夜多豆万十八, 卅一 いやさや 清弥 さ ○ 伊夜佐夜古中 神武

いやぶかり 離弥 さ ● 伊夜射可里万十四, 卅三 いや云いと

いやひと 社名 ひ ○ 伊夜比古, 神社

いや 賤 ー ○ 伊夜之万五, 十九 丁

イユ イヨ

いゆささぐくみ 岩根さく 上, く ● 下, く ○ 伊由伎佐

具久美万卅, 卅八 いゆさのりぬち 立行 ぬ ○ 伊由伎

能里多知万十七, 卅二 いゆ志し 射られぬ 志 ○ 以由之々

○ 修路考一 ○ 卅五

明紀 齊 **いよめみ** い、祭語 寄立 上、**い** ● 伊余理陀多志 古下

雄 万葉十七、廿一丁、余里多多志 志と多々ハ送ハハミ

い 三河、地名 ● 伊良虞 万一、十 **い** 即女、女、祢

つ ○ 異羅菟咩 紀景 行 伊羅都賣 天智 **い** 地名 ち ●

伊利麻治 万十四、八丁 **い** 入日 差 **い** 立入 ● 伊理多多受 古下 清寧

い 入日 差 ひさ ○ 伊理比沙之 万一、十 二丁 **い**

せ 兄 せ ○ 伊呂勢 上古 **い** 身 ● 伊呂村 古中

安 寧 **い** 著色 ● 伊呂豆伎 万十五、九六丁 **い** いろふかく

深 色 ふ ○ ● 難定 伊呂夫可久 万九、四十一丁 **い** 一、二丁

○ 宇部 **ウカ**

う かのみみ ● 宇迦之御魂神 上古 宇个能美拖磨 古中

代 紀 神 于伽能迷 武神 号 **う** か ● 宇迦斯 古中

武 神 宇个志 日紀 **う** かつ ● 穿邑此 云、于个知能務羅

武 紀 神 **う** かのやま 地名 ● 宇迦能山 上古 **う** か

伺 か ○ 宇迦迦波久 古中 崇神 于个伽卑 紀 同 **う** か ● 宇加比 古中 宇

宇加渥良比 もあめ 某カヒとリ **う** か ● 宇加比 古中 宇

个 譬 言 紀 **う** かは 川 ● 宇加波 万十七、廿六丁、四十九丁 **う** か

ハ 不 **う** か ● 于可倍 万五、十九丁 **う** か 親族

○ 佐藤考一

○ 飛六

● 宇我羅 代紀神 ハラガラもなるま。是もはくしてヤガラともなるべし。トモガラもなるま。今もなるま。

ウキ ウク ウケ ウコ

うさゆひ 結蓋 さひ〇 宇伎由比 上古

うささゆひ

斯氏 上古 神代紀二羽企尔磨梨陀毗邏而陀志 記此作のなま 志

鷹 く 汗隅比須 万五丁 宇具比須 日十丁 于遇比須 日十丁

丁八 うけもち 神号 けち〇 宇氣母知能加微 代紀神 け

ぐつ 昨曰穿 け〇 く ● 宇既具都 万五丁 け〇 宇家良 万十四丁 け

○ 汗氣 上古 于該 代紀神 うけら 木 け〇 宇家良 万十四丁 け

うけひ 誓 けひ〇 宇氣比 上古 うけひがり 誓 か ●

宇氣比 餓利 代紀神

うごく 動

こ ● 宇吳枳 万十八丁

うこなはる 集侍 こは〇 ● 不知 右女よかる

ウサ

うさつひ こ うさつひ 先 名人 さつひ皆〇 宇沙都比 古字

沙都比賣 古中 神武 宇沙ハ豊前 地名 うさか は 地名 さ〇 下

か ● 宇佐可河泊 万十七丁 十九丁 四 うさゆづ 設 さ〇 つ

● 宇佐由豆苗 古中 仲良 于璦由豆流 代紀神 うささ 鬼 さ〇

● 平佐藝 万十四丁 十九丁

ウシ

うー 大 人 ー〇 あさくひ 古 宇斯 上古 ひこ す とちの字

○ 佐藤考一

○ 七七

斯 日中 于志紀神
斯 仁中 于志代神
うはく 領主
いは 宇志波祁流 上古

宇志播吉 一丁 五、卅
宇之波伎 六丁 十九、卅
牛吐 六、卅
うし 牛

○ 佐喜あさる。上、
桑りてあさるし。
うしあふ 失
うし 〇 宇思奈波受 十

五、卅
四丁 振後の
うしろで 〇 ● 宇斯呂傳 古中
應神

い 倦 〇 宇之 五、卅
うど 小 〇 ● 宇士 上古
うど

か 姓 〇 ● 宇自可 臣 氏 續日 姓
たし 記中 考志
後 牛鹿 臣とあ

れを。しを。ほ。ぶ。さ。る。は
ハ後世の言候や。
少ス

うどい 信濃 地名
まひ 〇 宇須良婢 五、卅
十丁 五
うま 白
ま 〇 宇須

古中 宇輪 紀神
功 紀神
うま 細又 髻 華
ま 〇 宇受 九、四
十五丁 于

孺 紀推 古
うま 号神
ま 〇 宇受 賣 上古
古語拾遺 於須
女とあゆハ不正

うま 群 統 曰
上、ま 〇 下、ま 〇 宇受須 麻理 古下
雄畧

ウタ

うま 歌 〇 宇多 武 紀神
うま 哥 垣
か 〇 宇多 我 岐 紀武
烈

先 名人 〇 歌 凝 比 賣 古中 仁
うま 怒 〇 宇多

岐 古下 雄畧 宇多 枳 同 紀
うま 轉
ま 〇 宇多 底 古下 宇多
安 康

互 三 万 卅 十
うま 轉 樂
上、ま 〇 下、ま 〇 宇多 陀 怒

斯 古中 于多 娜 濃 芝 功 紀神
うま 酒 宴 〇 け 〇 手 掌
タテノコモ

〇 佐 考 一
〇 卅 八

後世人ハ此格のあゝるをきくをていとみぢりなり。此ハ原の秘て
 足跡ありて。たゞ記傳ふかつぐ海ひあうんといふ。将妻一さるもハ
 能きつわひあく
 の山路のひつ。

うつそみ 在顯 そ○ 宇都曾見 六丁 宇都世美

うつそみ 在顯 虚 蝉 八丁 條よてまじり。上

うつそみ 熟 つ○ 宇都良宇都良 十六丁

愛 つ○ 于都俱之 紀 齋 明 孝 徳 一 向 つ○ 打 細

九万十、九丁 打 棄 打 棄 九丁 棄

つ○ ふと、于都屢 紀 神 代 移 つ○ 宇都呂布

宇都呂比 九丁 珍 宇圖 紀 神 代 宇頭 五丁

延存式、都を用 九丁 名 人 宇豆比 古 中

ひとるハ不正 九丁 名 人 宇豆比 古 中

孝 神 武 紀 于 怒 比 元 故 ありハ不正 九丁 宇づなひ 諾 つ○ 宇豆奈比 十 万

八、九丁、結 日 宣 命 九丁 九丁 九丁 九丁 九丁 九丁 九丁 九丁

うづまひ 鶉 つ○ や○ 宇豆良登理 古 下 雄 畧 九丁

さ 姓、又 山 城、地名 九丁 九丁 九丁 九丁 九丁 九丁 九丁 九丁

も 埋 九丁 九丁 九丁 九丁 九丁 九丁 九丁 九丁

郡 九丁 九丁 九丁 九丁 九丁 九丁 九丁 九丁

ウナ ウネ 九丁 九丁 九丁 九丁 九丁 九丁 九丁 九丁

うなみ 地名 九丁 九丁 九丁 九丁 九丁 九丁 九丁 九丁

うなて 地名、又 九丁 九丁 九丁 九丁 九丁 九丁 九丁 九丁

なひ 津、園、地名 九丁 九丁 九丁 九丁 九丁 九丁 九丁 九丁

ひ○ 宇奈比 九丁 九丁 九丁 九丁 九丁 九丁 九丁 九丁

○ 法 考 一 九丁 九丁 九丁 九丁 九丁 九丁 九丁 九丁

○ 四十 九丁 九丁 九丁 九丁 九丁 九丁 九丁

名川、
ひ○ か ● 宇奈比河波 万十七、
廿六丁
うなひ 地名 地 〇

宇奈比 万十四、
八丁
他、海辺のひは備を
用ひて居る所あり。
うなるはなめ 童女
放髪

は○ 童女波奈理 万十六、
十六丁
うながけり 懸頸 〇 宇

那賀氣理 上古 宇奈我既利 万十八、
廿四丁
うながせる 同上、条 〇

宇那賀世流 上古 汗奈餓勢屢 紀神
うなげる 同上、条 〇

宇奈雅流 万十六、
廿七丁
うなかぶ 頃 〇 宇那加

夫斯 上古
うなほ 海原 〇 宇奈波良 万五、
廿五丁、廿九丁、十四、
十九丁

十七
此言十五、是、
かろと用ひ、必、
うぬび 和、大

地名 〇 宇泥備 古中 宇祢繁山 日 紀
う 万七、是、
と用ひるとハ不正

地名 美濃、
〇 宇泥須 古中 景行

ウハ

うはつくか 國上 つく○ 羽播豆 矩 你 紀神
他、豆、古用ひ
とるハ不正

うはご 名草 は○ ゑ ● 宇波疑 万二、
十二丁
うはなご 後妻

は○ 宇波那理 古中 神武 宇破奈利 同 紀
うはへなご 昨日あ
いそを

二五 へ○ 宇波弊 万四、
六丁
うげり 糞 〇 有婆比

万五、
九丁

ウヒ

うひぢふ 号神 ひ○ ち ● 宇比地迹 神 古
紀、
とるハ不正

うへ 上 へ○ 宇閉 上古 島杯 明 紀 育
去紀万、
とるハ不正

うへ 姓 へ○ 宇閉 直 紀 天
うへ 諾 へ ● 宇倍 古中
景行

〇 法考一

〇 四十一

宇每 紀天
うばな 蝦夷地名
は○ 宇保那 紀音

ウマ

うまし 稱美の詞
一○ 宇麻志 上古于麻時于麻師 紀神

うまぢ 人名
ち● 宇摩志麻遲 命 古中于魔詩 葦耐 紀

まひや 貴人
ひ○ 宇摩比等 于摩譬言 苔 紀神 于磨譬等 仁右

麻必等 万五、
北丁 保二、ハ
うましもの 美味 一○ 保るべ

ウマジモノ ともふひま
うまさけ 三輪、枕詞
さ○ 宇摩佐関 紀

神 郡名
く● ぬ○ 宇麻具多 万十四、
名和

抄、望陀とあるハ、
うまかひ 人名 馬養 かひ○ 于麻柯

比紀雄 佐一毗を用
うまふさ 馬の手細
ぬ● ぬ○

馬太伎 万十九、
十一丁 此所の説、
うませこ ませかささ 越ゆるこ せ

こ○ 宇麻勢 胡之 万十四、
北丁

ウミ

うみが 陸を對ラ
か● 宇美賀 古中 景行
うみさち 海 幸 さ○

海佐知 上古
うみつち 海路 ち○ かるまはるるれども助

うむさひ 神号
さ● ひ○ 蛤貝比賣 上古
かキガヒワスレ かがりあかも

久万十八、
北四丁 宇武何志伎 宇牟賀斯美 宇牟我 自弥 續日 宣申

ウラ

○ 海防考一

○ 四十二

うけ 酒酔
け ● 宇羅宜 古中 應神
うけはし 美
く ●

干羅虞波斯 紀雄
宇良具波之 万七十七
か ● 宇良我奈 離心

● 宇良賀礼 万二十四
うかがふ 悲心
か ● 宇良我奈

之 万十四、九、五、丁、十
うぶれ 他心
ふ ● 宇良夫礼 万五、九、五

丁 意
こ ○ 宇良胡本斯けむ 古下 清寧 宇良胡

非之 万十七、七、丁、宇良故非之 日四十
日ひり、宇良吳非すあり
とあり、これハ体言よりいれむ

はるもさる
うくけのこ 桑、木の
未柱こ
く ● 于羅愚破能紀

徳紀仁
うは 葉 未
は ● 宇良婆 古下 雄畧
うらへ 占
へ ○

宇良敵 万十四、七、丁、十五、五、丁
うらむ 洲浦
を ○ 宇良須 上古

ウル
ウレ
ウエ

うけぢ 名鉤
け ○ ち ● 于樓該賦 紀神 代
うはし 麗美

は ○ 宇流波志 古中 應神 于漏破試 紀景 行
うれい 悦
ひ

● 宇礼之備 万十八、十一、丁
うれい 慨
ふ ○ 宇礼多久 上古

于黎多棄 紀神 武、万
うれづ 慨
ふ、づ、く、ハ、かけづ
つ ●

く ○ 宇礼豆久 古中 應神
うれむ 仰日イカ
そ ○ ● 難定

有扇叙 万十一、丁、宇礼牟曾 三、丁、十
うま 植ハかろ
只草こ
く

● 宇惠具佐 古中 景行
うま 植ハかろ
ふ ○ 宇惠多

氣 万十四、丁、二
他、一、某竹とり
ま、多くなるゆゑ

○ 延部
エリ
エシ
エタ

○ 法部考一

○ 四十三

○ 於伎奈於吉奈 万十八、廿五丁
おさふち 起 〇 〇 〇 ●

難定 於已陀智 紀顯 宗
陀ハ留まるれども一処としてハ定め
去紀ハんで陀の用ひをま不
おさ

ろのいへく願の字をオギ口として
口とさハ、奥のそとをゆるふキを
ゆるふハき後ととらへり。

○ 於藝呂木伎 万九、廿五丁

オク オケ オコ

おく 送 く 〇 於久理 万十五、五丁
おく 後 く 〇 於

久礼 万十七、四十三丁
おく 置 く 〇 於枳て 万十八、九八丁
おく 〇 意

墓 つま 〇 於久都奇 万十八、九二丁
おく 〇 奥 〇 意

久迦 万五、九八丁 於久可 万十七、八丁
おけつひ 先 名人 けつひ 〇 意

祁都比賣命 古中 開化
おこを 遣 〇 於許世牟 万十八、九四丁 於

已勢 十九、二十丁
おこなひ 行 二〇 於虚奈比 紀允 恭

オサ オシ

おさか 大和地名
さ 〇 意佐加 古中神 武紀同
おさへ 押 へ 〇

於佐倍 万九、十八丁
倍を用ひしこハ不正必
ほまるべき処なり。

○ 忍鹿比賣命 古中 孝安
おいは 名人 〇 押磐皇子 紀雄 畧

おころわけ 隱伎、園、又、名
こ 〇 忍許呂別 上古
おぬみ

大和地名
於尸農 沢 紀顯 宗
おびらさ 開押 〇 於

辞寐羅箇祢 紀崇 神
飲斯毗羅枳 體 継
万五、七、九、二比を
用ひしハ不正。

けしひ 押 拂
は ● 於茲婆良比 紀顯 宗
おいて 難波、枕 詞、て

○ 淤志流 古下仁、紀同、於之互流 万九、九四丁

オス
オソ

おと 歴 屯 ○ 飲葛紀神

おとひ 竹日襲覆の 約りよこ

意須比 上古於須 辟言紀仁

おとひおし 東語よ 磯辺ヲ云 比へ○

於須比 九丁四 於思敬 丁日五

おとぶ 戸を押し 開とるこ ぶ ●

於曾夫良比 上古於曾夫流 九丁四

おとさ 襲 衣 さら○

於曾伎 九丁四

おとば 遅 速 そは○ 於曾波夜 九丁四

オタ
オチ
オト

おふひ 穩 意太比 續日 宣命 此ハ糸子のきまを好く あらふ。又多子用ひよハ不正。

おち 落 ち○ 於知上古於智 康紀安 名 人 び○ 於比賣

おや 賣 古中 化 意 乙登 古上紀 神代 意 兄 中 ○

おや 身 音 意 乙登 古上紀 神代 意 兄 中 ○

おや 身 音 意 乙登 古上紀 神代 意 兄 中 ○

おや 身 音 意 乙登 古上紀 神代 意 兄 中 ○

おや 身 音 意 乙登 古上紀 神代 意 兄 中 ○

滕山津見神 古

オノ
オヒ

おの 島 名 意 乙登 古上紀 神代 意 兄 中 ○

おの 島 名 意 乙登 古上紀 神代 意 兄 中 ○

おの 島 名 意 乙登 古上紀 神代 意 兄 中 ○

おの 島 名 意 乙登 古上紀 神代 意 兄 中 ○

○ 延考一

○ 四十六

丁 卅四

あひおふ帯

ひふ

於寐

紀武

於魔細屢さくら

此と於寐

継

於婆勢流

万十七、九丁、九、九六丁

比。を用ひしむ。

オフ

オヘ

あふ

負

ふ

名

於弊流

万十七、四

於返流

やうはる

丁 四

申

於保世

十、五

於婆武

於婆せ

まどあるハ不正

あふ

逐

○ 於敷

万十七、四、十五丁

あふ

仰

せ

於不世

一、万九、卅

あへ

覆

へ

あふ

於弊理

古下

オホ

あは

あは

神

ち

意富斗能地

神

上古

あは

あは

神

ち

大斗乃

辨

神

上古

あは

あは

あは

神

ひ

大屋

古

神

あは

あは

あは

神

け

大宜都

比賣

古

あは

あは

あは

神

や

戸

惑

神

あは

子

神

戸惑女

神

訓

惑

云

麻刀比

古

● 大穴

年

違

上古

大

穴

紀

万六、卅

あは

行

ち

子

紀

万六、卅

あは

あは

あは

あは

於

朋

望

能

農

之

紀

崇

あは

尔

奴

斯

上古

あは

あは

あは

あは

あは

○ 姓考一

○ 四十七

おほやみ 神号 大科度美神 上古

おほへひた 神号 大戸比賣神 上古

おほかむづみ 神号 意富加牟豆美命 上古

おほくた 神号 和都美許都美をばくたさるるよかく豆を用ひるるはりしう。旧事

おほくた 神号 久米 万九、五 十丁

おほやまややく小あれひた 神号 夜麻登玖迹阿礼比賣命 古中 孝靈

おほやまやねこひこく小 神号 大倭根子日子國玖流命 古中 孝元

おほびこ 神号 意富那毗 古中 孝元

おほびこ 神号 意富多多泥古 古中 崇神

おほまひた 神号 帯日子淤斯呂和氣天皇 古中 景行

おほまひた 神号 大多牟坂王 古中 開化

おほまひた 神号 意富多志比賣 古中 景行

おほまひた 神号 意富佐邪岐 古中 仁徳

おほまひた 神号 意富那岐 古中 孝靈

おほまひた 神号 意富多志比賣 古中 景行

おほまひた 神号 意富佐邪岐 古中 仁徳

おほまひた 神号 意富那岐 古中 孝靈

おほまひた 神号 意富多志比賣 古中 景行

おほまひた 神号 意富佐邪岐 古中 仁徳

おほまひた 神号 意富那岐 古中 孝靈

おほまひた 神号 意富多志比賣 古中 景行

おほまひた 神号 意富佐邪岐 古中 仁徳

おほまひた 神号 意富那岐 古中 孝靈

おほまひた 神号 意富多志比賣 古中 景行

○ 倭國考二

○ 四十八

○ 大津

おぼろか
かおろ
ほ○ 飲朋呂伽 紀仁 於保呂可 万十九
丁

万葉十八、九丁、於呂可ともあり
又万、五十丁、煩をも用ひたり。

おぼろ 臚
ほ○ ● 難知

能字見え
おぼろか

おぼろか

物の明

ほ○ 於保東 万八
丁

十、九
非

おぼろ

覆

ほ○ 於保比 万十七
十三丁

おぼ

ち 鉤
名

ほ●

ち○

於煩 鉤
上古

紀大鉤と
あまハ非

おぼろ

溺

ほ●
オボルのオボはオボチのオボ
よひ〜〜ぬをほるべし。

方三

方七

おみづぬ
号神

つ●

於美豆奴 神
上古

おみぬる
号神

ぬ●

於母陀琉 神
上古

某ぶると
りほるほ

おもて

面

て○● 難定

意母提 紀皇極 万
五、九丁

万葉九、十丁、阿我母とともあり、又オモとど
りもりよ、テはフリのともあり、をほるべし。

引〜ろで〜〜〜〜〜
紀よてハほるま葉よ〜ハほるま用ひ〜ぬ〜ぬ〜ぬ。

● 於毛我波利
万十八、
十一丁

加を用ひる
ハ不正

おもひがはり
面

おもひかぬ
号神

○ 思加丘 神
上古

おもひかぬ
思不
堪

か○ 於母比可祢

万十四、
九二丁

おもひ
思

ひ○ 於母比意母布
古中 意母閉 景
應神

於望臂 紀仁 於謀賊 武意母比
八丁、九

おもほ〜る
思

ほ○ 於母保之伎
万十七、
十三丁

おもひがな

悲思
か●

於母比我奈之
万十五、
十三丁

おもひぐる
思

く● 於毛比具流之
万十四、
十三丁

おもひこひ
思

こ○ 於

母比孤悲 万十七、
十六丁

おもひと先
始思

そ○ 於母比曾米
万十

八、十
四丁

おもかぬ
形面

か○

於毛可多 万十四、
八丁

おもろ

○ 漢語考

○ 五十終

心よかる
おのり

志〇

於母之權枳

紀有

於毛思路伎

万十四丁

おのり

趣

ふ

於毛夫氣

宣命

才ヤ

才イ

才ヨ

才ウ

才口

おのり

同

〃

於野兒

紀天

於夜自

万十七丁

於奈自伎

八丁

十六丁

おいづく

著

つ

於伊豆久

万十九丁

およつれ

言妖

つ

於余頭礼

万三丁四

於餘豆礼

十七丁

おひ

叫

ひ

於良妣

万九丁

おろけ

名人

け

於間礙

紀敏

おろし

下

〃

於呂之

万十五丁

